

# ファイナンシャル通信

2022年

11月号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

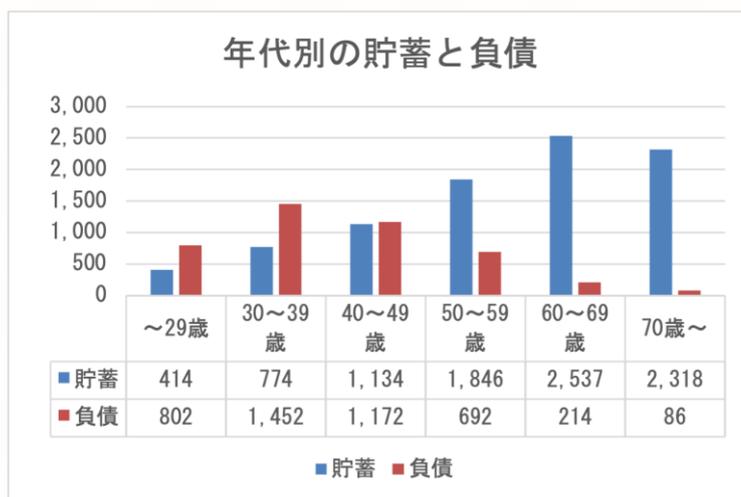
## 特集 ▶ みんないくら貯蓄しているの？年代別の貯蓄と負債！

2021年の1世帯当たりの平均貯蓄額は1,880万円で、前年に比べ5%増加しました。貯蓄額の中央値は1,104万円です。平均値は少数の大きな金額に引っ張られる傾向にあるため、中央値の方が全体の真ん中の数値と考えられます。

年代別の貯蓄額はどうでしょうか？2人以上世帯の平均貯蓄額は30代774万円、40代1,134万円、50代1,846万円、60代では2,537万円となっています。貯蓄額は年齢が高くなるほど増加していきます。

一方負債は、住宅ローンの影響で、20～40代では貯蓄を上回っています。特に30代は貯蓄額の倍近い負債を抱えていることがわかります。

さて、あなたの資産と比べてどうでしたか？

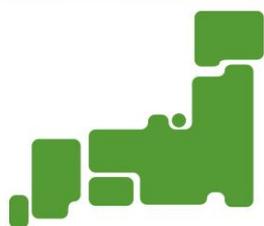


出典：家計調査 2021年

## ? マネークイズのコーナー

2022年の調査による住みたい街(都道府県)ランキング、1位はどこでしょうか？

- 1 東京都
- 2 沖縄県
- 3 福岡県



## 今月のお知らせ

11月は、コンサートが1年で最も多く開かれる月です。その理由は、芸術の秋だからという理由だけではありません。西洋楽器にとっては室温20度前後、湿度50%前後が最適とされます。屋外と室内の温度差も少ない11月は、楽器がよく響き、弦が切れるなどのトラブルも起きにくい、楽器にとって快適な月なのです。



## コラム ZEHとは？国は高性能住宅を推進中！

ZEH（ゼッチ）というのをご存じですか？ZEHとはnet Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略語です。太陽光発電などで発電し、家庭で使うエネルギー消費量をまかない、実質的にゼロ・エネルギー生活をめざしていく住宅のことです。ZEHが広がれば、現在全エネルギー消費量の13.8%を占める家庭部門のエネルギー消費はもっと低下するかもしれません。

国は様々な支援策を実施し、ZEHのようなゼロ・エネルギー、高性能住宅を広げていこうとしています。例えば、「住宅ローン控除」や「住宅取得時の贈与税の非課税措置」では、ZEHのような高性能住宅に対して、控除額や非課税枠を優遇しています。全期間固定金利の住宅ローン「フラット35」でも、金利引き下げ率や引き下げ期間を優遇しています。その他、「ZEH支援事業」として100万円前後の支援金がうけられる住宅購入支援制度も実施中です。その結果、2020年のハウスメーカーが新設する注文戸建住宅の約56%がZEHとなっています。これからの住宅は省エネではなく、ゼロ・エネルギーが当たり前になるのかもしれませんね。



## A マネークイズの答え

正解：1

いい部屋ネット「街の住みこち&住みたい街ランキング2022」によると、住みたい街ランキング1位は東京都、2位は福岡県、3位は神奈川県、4位は沖縄県、5位は北海道でした。

あなたはどこに住みたいです？

## 編集後記

「どんなタイトルがいいかな・・・」  
悩んだ結果・・・「ファイナンシャル通信」  
「わかりやすくいいか！」と自分を納得させて作成しました。

毎月一回のペースで発行します。  
今回は創刊号という事で勝手に送らせて頂きましたが、次回からは希望の方へ送ろうと思っております。

**もし今後もお読み頂ける方はこちらからお申込みください。もちろん無料です。**

申込はこちらから→



発行

あなたがおうちのFP

みついたかし  
三井貴司

全体像がわかる  
【おカネの地図】はこちら

お問い合わせはこちらまで！

メール：mail@fpmitsui.com

